

新庁舎整備に関する検討状況について

～整備地の選定に向けて～



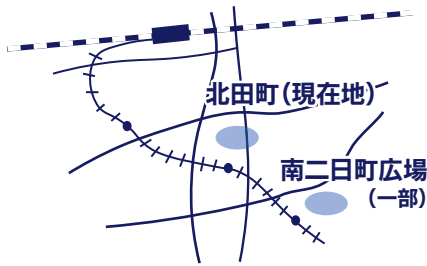
▲詳細はこちら

現在、市では庁舎の老朽化（築60年以上経過）や、狭あい化、庁舎機能の分散化などの課題を解決するため、新庁舎の整備について検討を進めています。現庁舎は、大規模改修をしても費用対効果が合わないことや、狭あい化・分散化の課題解決ができないことから、「北田町（現在地）」での建替えと、「南二日町広場の一部」での新築移転の2つの案で検討を進めています。

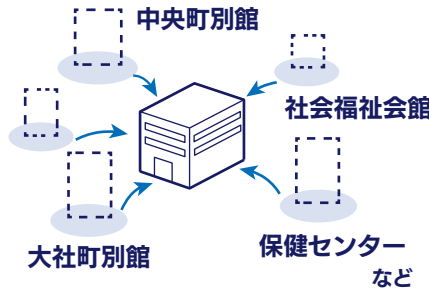
問新庁舎整備推進室 ☎ 983・2694

1. 新庁舎整備の基本方針

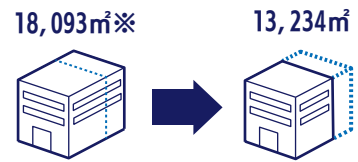
(1) 候補地は北田町（現在地）と南二日町広場の一部



(2) 庁舎の集約化・複合化跡地の活用



(3) デジタル技術を積極的に活用コンパクトな計画



約5,000㎡の削減

※国土交通省基準で算出した新庁舎の標準面積

2. 両候補地の共通事項

- ① 庁舎の延べ床面積の目安は 13,234㎡（コンビニやカフェなどの利便施設はこれに含まない。）
- ② 来庁者駐車場と公用車駐車場を合わせた駐車場台数の目安は 240 台
- ③ 新庁舎に集約する施設は、中央町別館、大社町別館、保健センター、高齢者いきがいセンター、社会福祉会館、4つのコミュニティ防災センターにある備蓄倉庫（避難所の防災倉庫とは異なる）
- ④ 新庁舎整備により生まれた跡地は、第5次三島市総合計画を中心にまちづくりに関するさまざまな計画と結びつけ、跡地の有効活用による「まちなかのにぎわい創出」につなげていきます。

3. 候補地の概要(イメージ図)

北田町（現在地）	南二日町広場の一部
敷地面積：約 7,000㎡ 三島裾野線 庁舎 平面駐車場 立体駐車場	敷地面積：約 16,000㎡ 国道1号 平面駐車場 かさ上げ平面駐車場 平面駐車場 グラウンドゴルフ場
<ul style="list-style-type: none">▶ 7階建て2棟の庁舎▶ 現在の本庁舎がある敷地内に建替え▶ 敷地内に駐車場を整備するため一部は立体駐車場▶ 仮設庁舎は増築や既存本庁舎の改修により、現敷地内に設置▶ 工事期間中は庁舎機能を維持したままの工事となるため、騒音や振動、粉塵などの影響が出る可能性あり	<ul style="list-style-type: none">▶ 5階建て1棟の庁舎▶ 土のグラウンドの一部に庁舎を新築▶ 人工芝のサッカーグラウンドは残し、多目的に利用できるグラウンドゴルフ場を新たに計画▶ 浸水対策として敷地の一部をかさ上げし、国道1号への直接出入りを可能にする▶ 既存敷地内に新しい道路を整備

4. 候補地の特徴

項目	北田町(現在地)	南二日町広場の一部
費用	概算事業費：約111億5千万円 概算ライフサイクルコスト(※1)：約333億1千万円	概算事業費：約100億4千万円 概算ライフサイクルコスト(※1)：約309億円
工期	少なくとも6年程度	3年程度
防災	水害 浸水の想定なし(浸水対策不要)	想定しうる最大規模の降雨(※2)があった場合、約1.4mの浸水が想定されているため、その対策として敷地のかさ上げを行う。
	大規模地震 最大予測震度：6強 液状化：ほとんどなく、被害なし(砂質地盤) 周辺建物の全壊率：5%以上、10%未満(推定)	最大予測震度：6強 液状化：ほとんどなく、被害なし(砂質地盤) 周辺建物の全壊率：1%以上、5%未満(推定)
	災害支援 災害時に利用可能なスペースが少なく、活動拠点などを機能的に配置することが難しい	さまざまな活動拠点などを機能させやすく、応援団体との連携が図りやすい
利便性	利便施設の設置 小中規模のコンビニやカフェなどであれば、必要に応じて設置可能	複数の小中規模のコンビニなどに加え、大型店舗などの複合化も必要に応じて設置可能
	交通 電車：伊豆箱根鉄道「三島田町駅」から徒歩約5分 東海道線「三島駅」から徒歩約15分 バス：大社前・市役所バス停	電車：伊豆箱根鉄道「三島二日町駅」から徒歩約2分 バス：周辺に新しくバス停を配置
	床面積の1階積 約2,000㎡ →1階に配置できる部署が限られる	約2,700㎡ →1階に多くの部署を配置できる
跡地の活用シミュレーション	対象跡地 中央町別館、大社町別館、社会福祉会館、高齢者いきがいセンター、西地区コミュニティ防災センター	本庁舎、中央町別館、大社町別館、社会福祉会館、高齢者いきがいセンター、西地区コミュニティ防災センター
	シミュレーション結果 上記跡地の活用シミュレーションの結果、公共施設よりも民間施設として活用する方が回遊行動は増加傾向にある	上記跡地の活用シミュレーションの結果、公共施設よりも民間施設として活用する方が回遊行動が増加し、北田町(現在地)を含むことにより、増加傾向がより大きい
環境	屋上面積や余剰空間が狭いため、太陽光などの再生可能エネルギーは小規模になる可能性がある	屋上面積や余剰空間に比較的余裕があるため、太陽光などの再生可能エネルギーについては、効果が期待できる

※1 ライフサイクルコスト…建物の生涯にかかるコスト。建設費や保全費などの総計

※2 想定しうる最大規模の降雨…降雨規模は千年に1回程度を想定



～整備地の選定に向けて～ **市民アンケートを実施します**

5月中旬に対象者へ郵送しますので、同封の参考資料を確認のうえ、アンケートにご協力をお願いします。

■ **対象者** 15歳以上の市民1万人(お住まいの地域・年齢層・性別の比率を考慮し無作為に抽出)

■ **回答方法** 電子申請または郵送(6月5日(水)消印有効)で新庁舎整備推進室

☎ 411・8666 北田町4・47 ☎ 983・2694

※アンケートは宛先に記載されている対象者が回答してください